

令和3年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	情報		
教科	情報の科学	単位数2単位	学年・コース・組 高校2学年 選択文系
使用教科書	改訂版 情報の科学(数研出版)		
副教材等	改訂版 情報の科学 サポートノート(数研出版)		

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ① 社会を支える情報技術の役割や影響を理解し、情報と情報技術に関する基礎的な知識と技能を習得する
- ② 情報技術の進歩が人間や社会に及ぼす影響を理解し、その特性を踏まえた適切なルールやマナー、情報の安全性などに関する基礎的な知識と技能を習得する
- ③ 情報機器や情報通信ネットワークに関する基礎的な知識や技能の習得を通して、問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方を習得する
- ④ 情報社会の発展に積極的に寄与する能力と態度を身に付け、自ら進んで貢献しようという意欲を身に付ける

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	コンピュータとデジタル情報 ・コンピュータのしくみ ・情報のデジタル表現		10月	日本語ワープロ検定試験実施	
5月	日本語ワープロ検定対策		11月	情報処理技能検定対策 問題解決とコンピュータ ・問題解決 ・問題の解決と処理手順の自動化 ・データベース	
6月	日本語ワープロ検定対策		12月	情報処理技能検定対策	第2学期期末考査
7月	日本語ワープロ検定対策 情報通信ネットワーク ・コミュニケーション手段の発達	第1学期期末考査	1月	情報社会と情報モラル ・情報システムと人間 ・情報社会の光と影 ・情報セキュリティの確保 ・情報社会における法と個人の責任	
8月			2月	情報処理技能検定試験実施	
9月	日本語ワープロ検定対策 ・インターネットのしくみ		3月		第3学期期末考査

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

- ① 関心・意欲・態度
- ② 思考・判断・表現
- ③ 技能
- ④ 知識・理解

このため、評価は、具体的には次のものを対象とし

主体的・対話的に活動しているか、またワークシートや作品等の提出を含めて評価する。
その活動を通して、評価シートを配布し、生徒による自己評価や生徒同士の相互評価を5段階でおこなう。
定期考査は年3回実施。実習(提出物含む)評価・出席、授業態度、取り組む姿勢の評価・定期考査評価

1年間の評定は、第1学期・第2学期・第3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します